

8人の新入社員 迎え入社式開く

第一コンサル

第一コンサルタンツ（高知市）は1日、8人の新入社員を迎え2019年度入社式を開いた。

右城猛社長は「始業時間の30分前には入社しその日の段取りをする。分らないことはその場で先輩に聞か調べる。10年以内に資格を取るこ



右城社長(中央)と8人の新入社員

を日指し勉強する。これからの10年間はとても重要。この三つの努力を日々続けければ皆さんは立派な技術者になれる」と訓示を述べた。

続いて新入社員一人一人が壇上に上がり、緊張した面持ちで趣味や特技、今後の目標などを全社員の前で自己紹介し、社会人としての一步を踏み出した。

その後は18年度表彰式に移り、優秀社員や永年勤続者が表彰された。またストロングポイントの加賀隼人社長による「成長するために必要なこと」と、オルトルの横山公大社長による「すべてに通ずるおもてなし」の特別講演が行われた。